

＜お詫びと訂正＞

標記事業報告書（および別刷）に、以下の誤植がありました。お詫び申し上げますと共に、訂正いたします。

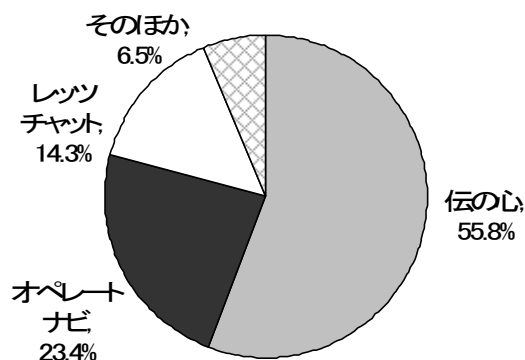
①

場所： 17 ページ 3 行目 （ 「 2）意思伝達装置に関する項目 2.1）支給装置名」 内）

正： 本調査では装置については自由記述式をとったが、それをコード化するとともに使用されていたのは「伝の心」であり、55.8%であった。次に利用されているのが「オペレートナビ」で23.4%、「レッツチャット」が14.3%であった（n=77）【図2-1】

図2-1 装置の品名（Q1）

N=77



②

場所： 19 ページ 28 行目 （ 「3）スイッチ・設置と交換の状況 3.3）スイッチ交換の有無、頻度、効果」 内）

正： スイッチ交換については「したことがある」が47.4%、「したことがない」が52.6%であった（n=76）。

③

場所： 20 ページ 11 行目 （ 「4）利用支援の状況 4.1）支援の必要性・有無」）

正： 「受けられる機関がない」

以上